

Kanoya

2017 National Institute of Fitness and Sports

国立大学法人
鹿屋体育大学



S
P
O



R E S E A R C H



T
S



学長からのメッセージ

スポーツで未来を拓く 自分を創る



鹿屋体育大学長 松下 雅雄

鹿屋体育大学では、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要な不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティに富む有意の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ科学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与することを目的としております。

この目的を実現すべく、教育、研究、社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革をしつつ、個性化輝く大学を目指しております。

皆さんには、キャンパスの豊かな自然環境と充実した教育研究施設の中で、各自の設定した目標を達成するよう計画的に取り組み、これから社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思っております。

Introduction

真の体育系創造派になるために

アスレチック・クリエイターになる。

ヘルス・クリエイターになる。

サイエンス・クリエイターになる。

トラディショナル・クリエイターになる。

ティーチング・クリエイターになる。

さまざまな可能性を実現するために、今がある。

そのためのフィールドがここにある。

未来へー 体育系創造派たちよ。

クリエイト、創造ということ。

その可能性をスポーツの分野でも

見い出すことができる人。

その夢をめざし、アクションを起こす人。

そんな若者を、私たちは体育系創造派と呼びます。

自分らしい夢がいい。遠大な夢がいい。

輝くのは、追い続ける姿。

思い描く明日があるから、今日を疾走できる。

さあ、フィットネスとマインドが

調和したゴールをめざして。

南国、鹿児島からスタートの号砲が聴こえる。

Introduction 1

- ☐ 体育学部
- ☐ 大学院 体育学研究科
- ☐ 連携ネットワーク
- ☐ 施設

Message of Spirit 18

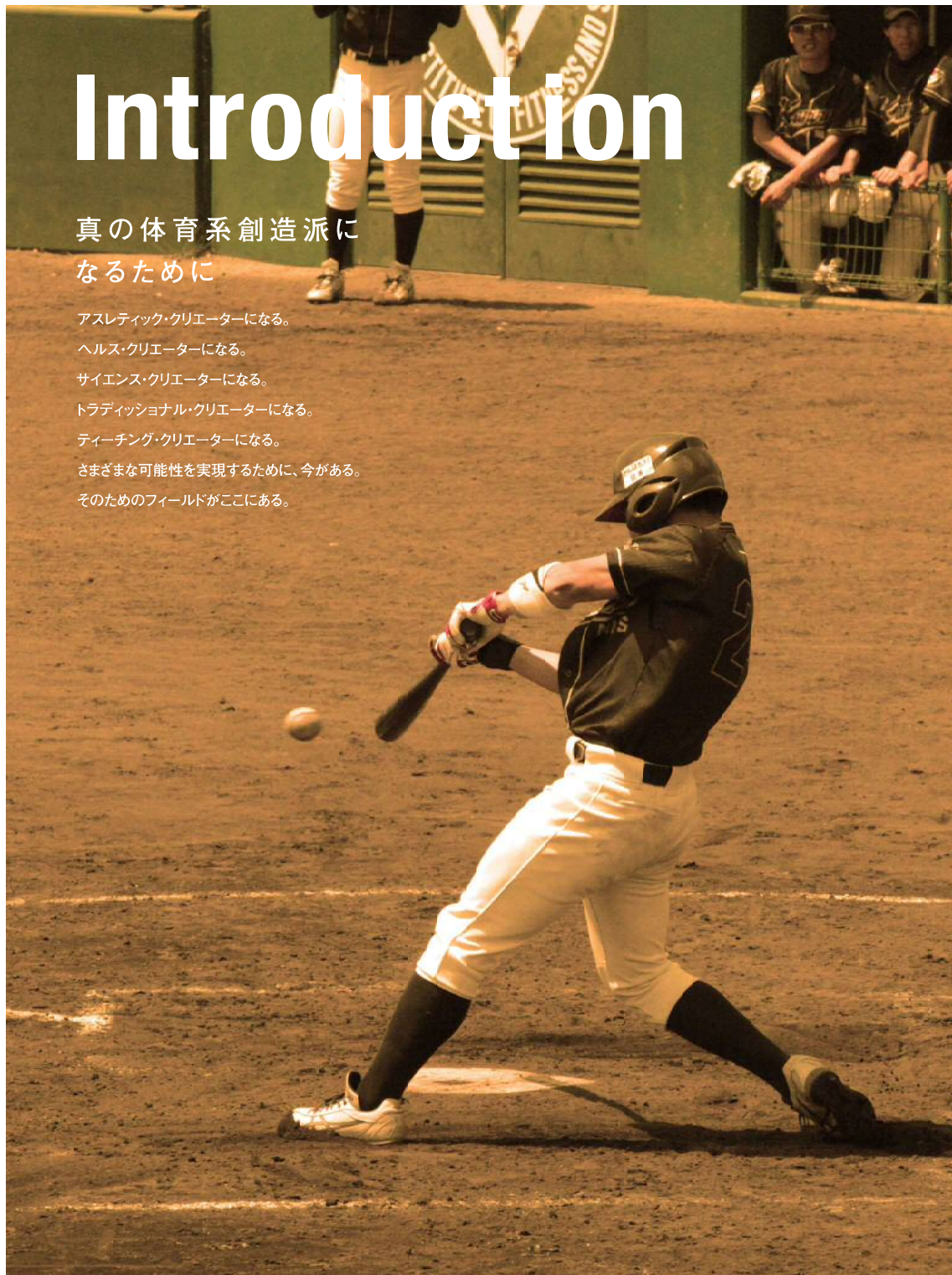
- ☐ 在学生からのメッセージ
- ☐ 卒業生からのメッセージ
- ☐ 留学生からのメッセージ(国際交流)

Campus Life 24

- ☐ 課外活動
- ☐ 所在地
- ☐ 福利厚生
- ☐ 学生宿舎

Data 33

- ☐ 学費・奨学金・傷害保険
- ☐ 就職
- ☐ 入試情報
- ☐ 大学説明会・体験授業



体育学部の目的

鹿屋体育大学体育学部は、体育スポーツ、レクリエーション及び武道（以下「スポーツ・健康」と総称します。）に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者を養成するとともにスポーツ・健康に関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としています。

これらの目的を達成するため、次のとおり「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を定めています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

鹿屋体育大学体育学部は、心身ともに健康でスポーツを愛好する次のような人材を養成することを目標としています。

体育・スポーツ及び武道の分野において、理論と実践とを連結する能力を有し、かつ人間的な魅力に満ちた指導者になり得る人材

○競技スポーツの分野において、競技選手の競技力向上を適切に支援することができる指導者になり得る人材

○生涯スポーツ・健康づくりの分野において、人々の健康状態や体力等に応じた適切な指導が行える指導者になり得る人材



アドミッション・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で

1. 専門性の深化と充実

2. 社会人としての豊かな教養の涵養

3. 将来を展望し、勤労観・職業観

を醸成

できるための教育課程を編成しています。



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

鹿屋体育大学体育学部のディプロマ・ポリシーでは、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定することを定めています。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



授業時間

(1) 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (45分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	16:45

前期:4月1日～9月30日 後期:10月1日～3月31日
授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

(2) 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日 ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月5日～9月30日） 冬期休業日（12月26日～1月7日） 春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日 注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

(3) 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にスポーツ総合課程と武道課程を設定し、各課程の中に下に示すように3つの系（柔軟なコース）を編成し、それぞれの専門に向けた勉強ができるようにしています。

スポーツ総合課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。



アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース

武道課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。



武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練方式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。ただし、一部の科目については、通年科目（1年間履修して単位が取れる科目）となっています。

授業科目は、大きく①一般科目、②キャリア形成科目、③専門科目、④専攻科目、⑤教職科目の5つの科目群に区分されています。

区 分	科目群の特徴（ねらい）
①一般科目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
②キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
③専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
④専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
⑤教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目

さらに、これらの科目群は次のように区分されています。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）	
①一般科目	コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
	社会・文化・自然科目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
	総合科目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
②キャリア形成科目	キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
③専門科目	基礎科目A（人文・社会・自然系）	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
	基礎科目B（指導・普及系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
	応用科目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
	実験演習科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
	関連実技科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
	ゼミナール（卒業研究）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心あるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
④専攻科目	専修科目	アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系 スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
	指導実践科目	アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系 専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的、実践的に活用し、深める科目
⑤教職科目	教職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
	専門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は、下表のように、履修（選択）の仕方により、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

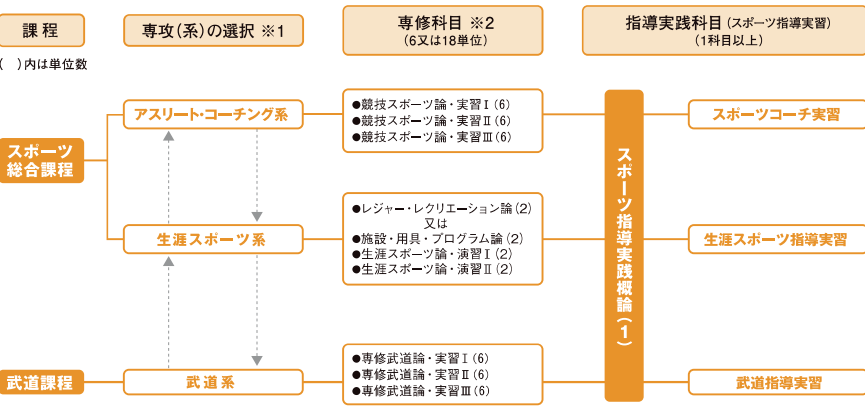
卒業所要単位数

卒業のための最低修得単位数は、①一般科目と②キャリア形成科目で38単位以上、③専門科目と④専攻科目で86単位以上、合計で124単位修得することが必要な条件（要件）として定められています。

専攻科目の系の選択

教育目標の達成に向け、専攻科目では下図に示すように3つの系を設定し、それぞれの専門に向けた勉強ができるように編成しており、課程毎に次のように系を選択することとなっています。

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



- ※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
- ※2) 各系の必修科目を示しています。 ※3) 選択した系以外で履修可能な他系を ----> で示しています。

ゼミナール

左表の「③専門科目」の中に、「ゼミナール」という科目が配置されています。ゼミナールは「ゼミナールⅠ（2年次開講）」「ゼミナールⅡ（3年次開講）」「ゼミナールⅢ（4年次開講）」の3つが開講されており、「ゼミナールⅠ」は自由科目（左の一番下の表参照）、「ゼミナールⅡ・Ⅲ」は必修科目（左の一番下の表参照）に分類されています。ゼミナールは、シラバスと呼ばれる授業科目概要を記した冊子や、各教員の研究領域を参考にして自分が学びたい内容の教員を選び、研究を行うという科目です。選んだ教員を「指導教員」と呼び、ゼミナールとあわせて卒業に必要な「卒業研究（いわゆる「卒業論文」）」までを指導教員のもとで行っていくことになります。

1人の教員が指導できる学生数は決められていますので、必ずしも希望する指導教員を選べるとは限りません。なお、3年次編入学生の場合は、入学後すぐに指導教員を決める必要がありますので、入学前のできるだけ早い時期に本学ホームページの「研究者の紹介」で、どういった先生がどのような研究をしているかを調べておくことをお勧めします。



研究者の紹介

開設科目

本学では、4ページ「教育課程の編成」で説明した5つの科目群ごとに次表に示す科目を開設しています。

① 一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
基礎科目	英語Ⅰ	1	社会科学・人文・自然科目	日本事情※	1	総合科目	環境論	1
	英語Ⅱ	2		現代日本事情※	2		総合演習A	3
	上級英語	3		各国文化研究	1～4		総合演習B	4
	英語コミュニケーションⅠ	1		倫理・哲学	1		総合演習C	3
	英語コミュニケーションⅡ	2		人権論	1		総合演習D	2
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2
	中国語	3		歴史学	2		情報地理A	1
	韓国語	3		社会学	2		情報地理B	2
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報地理C	2
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション討論Ⅰ	2
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション討論Ⅱ	3
	留学生のための英語※	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1～4
専門科目	日本語演習Ⅰ※	1	専門科目	生物化学論	1	専門科目		
	日本語演習Ⅱ※	2		身体科学論	1			

(注)※の科目は外国人留学生対象の科目です

② キャリア形成科目

区分	授業科目名	履修年次
キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	キャリアデザインⅢ	2
	キャリアセミナー	3
	キャリアコミュニケーション	3
	企業実習(1週)	2～3
	企業実習(2週)	2～3
	キャリア対策セミナー(教員)	3
	キャリア対策セミナー(一般企業)	3
	キャリア対策セミナー(公務員)	3
キャリアデザイン科目	ボランティア活動	1～4

③ 専門科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
基礎科目	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	共通基盤科目	サッカー	1
	体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ経営学	2		ラバレー	2
	体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		水泳	3
	健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		陸上運動	3
	運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		ダンス	3, 4
	スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		バレーボール	3
	スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		柔道	1
	スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ技術実地論	3		剣道	1
	生涯スポーツ学概論	2		社会福祉論	3		エアロビックダンス	1
	スポーツ心理学	2		スポーツ運営論	3		ジョギング&ウオーキング	2
	バイオメカニクス	1		体育・スポーツ統計学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
	衛生学・公衆衛生学	2		スポーツマーケティング論	3		テニス	2
専門科目	スポーツ医学	2	実践演習科目	運動処方論	3	(卒業研究)	夏季山岳レジャースポーツ実習	2
	授業総論・実習	2		応用スポーツ心理学	3		冬季山岳レジャースポーツ実習	2
	トレーニング科学概論	2		イベント管理学概論	3		海浜スポーツ	2
	スポーツカウンセリング論	2		ヘルスプロモーション論・実習	4		卓球	3
	運動学概論	2		救急法実習	1～4		バドミントン	3
	学校保健	2		体育学実験Ⅰ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1		ソフトボール	2
	スポーツ方法	3	実地演習科目	体育学実験Ⅱ(運動生理学)			ゴルフ	4
	ユース科学概論	2		体育学実験Ⅲ(スポーツ心理学)			相撲	2
	海外実地実習	3		体育学実験Ⅳ(バイオメカニクス)			弓道	2, 4
	運動学概論	1		体育学実験Ⅴ(スポーツ心理学)	2		野外活動	2
	フィジカルトレーニング論・実習	3		体育学実験Ⅵ(衛生学・公衆衛生学・スポーツ栄養学)			体力トレーニング	2
	生涯スポーツ実践論	3	関連実技科目	武道史	2		ゼミナールⅠ	2
	武道史	2		陸上競技	3		ゼミナールⅡ	3
	運動生理学	2		体操(体づく運動を含む)	1		ゼミナールⅢ	4
	アスレチックリハビリテーション論	3		バスケットボール	1		卒業研究	4
応用科目	アスレチックリハビリテーション実習	2	実地演習科目	海外スポーツ	1～4	指導実践科目	コミュニケーション	3
				自転車競技	1～4		健康・体力	3
				レーシングクリエーション論	2		野外教育	3
				施設・用具・プログラム論	2		柔道	1～4
				生体スポーツ論	3		専修武道論・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	
				コミュニケーション	3		剣道	1～4
				バスケットボール	1～4			
				サッカー	1～4			
				テニス	1～4			

④ 専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
専門科目	陸上競技	1～4	専攻科目	海洋スポーツ	1～4	指導実践科目	コミュニケーション	3
	水泳	1～4		自転車競技	1～4		健康・体力	3
	体操競技	1～4		レーシングクリエーション論	2		野外教育	3
	バレーボール	1～4		施設・用具・プログラム論	2		柔道	1～4
	バスケットボール	1～4		生体スポーツ論	3		専修武道論・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	
	サッカー	1～4		コミュニケーション	3		剣道	1～4
	テニス	1～4		バスケットボール	1～4			
				サッカー	1～4			
				テニス	1～4			

⑤ 教職科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
教職科目	教頭論	1	教職科目	教育法・教育行政	3	専門科目	保健体育科教育法Ⅱ	2
	教育心理学	2		生涯指導論	3		保健体育科教育法Ⅲ	3
	道徳教育の研究	2		教育課程論	3		保健体育科教育法Ⅳ	3
	特別活動論	2		教育相談・カウンセリング論	3		教育実習Ⅰ	4
	教育方法・技術	2		介護等体験	3		教育実習Ⅱ	4
	教育史	3		保健体育科教育法Ⅰ	2		教職実地演習(中・高)	4

教育職員免許状、資格・受験資格等

(1) 本学で取得できる教育職員免許状

本学の授業科目の履修状況によって、下記の免許状を取得することができます。

免許状	免許状の種類	資格認定団体等	職務内容等
	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	各都道府県 教育委員会	中学校・高等学校の保健体育の教諭

(2) 本学で取得できる資格・受験資格等

① 各種公認スポーツ指導者

下記資格取得のためには、本来は(財)日本体育協会や各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。以下に各種公認スポーツ指導者の種類と職務内容等について記します。

(スポーツ指導基礎資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
スポーツリーダー	(財)日本体育協会	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたります。

(競技別指導者資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
指導員	(財)日本体育協会	・ 地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたります。 ・ 特に発育発達期の子どもに対しては、総合的な動きづくり(主眼)を置き、遊びの要素を取り入れた指導にあたります。 ・ 地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたります。 ・ 施設開放において利用者の指導支援を行います。
コーチ	(財)日本体育協会	・ 地域において、競技者養成のための指導にあたります。 ・ 広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたります。 ・ 広域スポーツセンターの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行います。
教師	(財)日本体育協会	・ 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行います。 ・ 会員(顧客)が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供します。

(フィットネス資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
ジュニアスポーツ指導員	(財)日本体育協会	地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行います。
スポーツプログラマー	(財)日本体育協会	主として青年期以降の全ての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行います。

(マネジメント資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
アシスタントマネージャー	(財)日本体育協会	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートします。

(各種加盟団体等の資格)

資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
財団法人日本サッカー協会 公認コーチ	(財)日本サッカー協会	地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で、サッカーの基礎的な技術や一般的な身体運動の指導を行います。
全日本剣道連盟公認 社会体育指導員(初級)	全日本剣道連盟	地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で剣道の指導にあたります。

② 健康運動実践指導者

資格の種類	資格認定団体等	資格の概要
健康運動実践指導者	(財)健康・体力づくり事業団	健康づくりのための運動指導者の一つで、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術等をもち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、エアロビックダンス、水泳及び水中運動等のエアロビック・エクササイズ、ストレッチング、筋力、筋持久力トレーニング等の補強運動の実践指導を行うことができる資格です。

③ 健康運動指導士

資格の種類	資格認定団体等	資格の概要
健康運動指導士	(財)健康・体力づくり事業団	メディカルスタッフと連携し、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病・ハイリスク者への運動指導、少子高齢社会を踏まえた介護予防のための運動指導にあたります。

④ その他の資格等

資格の種類	資格認定団体等	資格等の概要
イベント検定	(社)日本イベント産業振興協会	的確なオリエンテーションを行って、より適切な効果的なイベントを実施する「イベントについての体系的な基礎知識を持つ人材」を養成することを目的とした検定です。
レクリエーション・インストラクター	(財)日本レクリエーション協会	さまざまな遊びのメニューと提供技術を持ち、楽しさの体験を多くの人に提供できる人材を養成するための資格です。
レクリエーションコーディネーター	(財)日本レクリエーション協会	地域におけるスポーツ活動を支援し、仲間づくりや人々へのふれあい活動を推進する資格です。

大学院体育学研究科(体育学専攻)の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科(体育学専攻)は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

これらの目的を達成するため、次のとおり「アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)」 「カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)」並びに「ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)」を定めています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

【修士課程】

大学院体育学研究科(体育学専攻)修士課程では、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。

【博士後期課程】

大学院体育学研究科(体育学専攻)博士後期課程では、体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献できる高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。



アドミッション・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)

【修士課程】

体育・スポーツ、健康に関する科学的及び実践的な教育研究領域において、特に社会的要請の強い分野を中心とした専門性の高い職業人の養成、研究者の養成及び社会人の再教育を目的とした多様なカリキュラムを編成しています。また、教育目標に沿った教育を効果的に行うため、授業科目を「共通コア科目」「基礎科目」「応用科目」に区分して設けています。

【博士後期課程】

生涯スポーツや競技スポーツの分野において、関連する諸科学等の研究の進展の成果を学際的・統合的に把握して、これまでにない学際領域の分野を開拓し、実践に結びつけることができる独創性のある高度専門指導者の養成を目的として、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開するために、「共通領域」「スポーツ総合科学領域」「スポーツ文化・社会科学領域」「スポーツ生命科学領域」により教育課程を編成しています。



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



カリキュラム・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

【修士課程】

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えた高度な専門的指導者や研究者を育てるための知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を認定します。なお、学位論文に代えて特定課題の研究成果とすることも可能です。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います

【博士後期課程】

生涯スポーツや競技スポーツの分野において、関連する諸科学等の研究の進展の成果を学際的・統合的に把握して、これまでにない学際領域の分野を開拓し、実践に結びつけることができる独創性のある高度専門指導者を養成するための知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を認定します。



ディプロマ・ポリシーの詳細はこのQRコードへアクセス願います



多様な教育プログラム

大学院体育学研究科では、さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムを下記のとおり用意し、多様な人材の入学をお待ちしております。

・スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの三機関が共同して、スポーツを通して国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。学修はすべて英語で行われるのが大きな特色です。

・国立スポーツ科学センター(JISS)との連携大学院(博士後期課程)

国立スポーツ科学センター(JISS)を主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すものです。

・体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム(博士後期課程)

本学大学院体育学研究科(博士後期課程)を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すプログラムです。

・大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講できるのが特色の一つです。

・東京サテライトキャンパス社会人コース(修士課程、博士後期課程)

各競技においてトップレベルのコーチやアスリートとして活躍している人や体育系の教員らが、その技術に関する実践的指導能力と高度な科学的研究能力を東京に在住しながら修得できるようにすることを目的として、東京サテライトキャンパス社会人コースを夜間に開設しています。

連携ネットワーク

本学では、いろいろな機関と、ネットワークを構築し、さまざまな教育プログラム等の事業を展開しています。

●鹿屋市



鹿屋市とのスポーツ合宿の様様

●スポーツ合宿・まちづくり推進事業等

●東京サテライトキャンパス (筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室)



授業風景

●東京サテライトキャンパス
社会人コース
(修士課程・博士後期課程)

●国立スポーツ科学センター (JISS)
との連携大学院 (博士後期課程)

●国立スポーツ科学センター



研究発表の様様

●国立大隅青少年自然の家



新入生合宿研修の様様

●連携・協力

●鹿屋体育大学



JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター

●スポーツ国際開発学
共同専攻 (修士課程)

●熊本大学 大学院教育学研究科



●鹿児島大学 大学院教育学研究科



●筑波大学



●大学体育スポーツ高度化
共同専攻 (3年制博士課程)

●体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム (博士後期課程)



学生宿舎 (32頁参照)

トップクラスの
充実環境。

Campus and Facilities

施設



① 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技ができる3種公認競技場です。



② サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面芝生場で照明設備も設置されています。



③ テニスコート

ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



④ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。(詳細は14頁)



⑥ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑦ ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



⑧ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです。(詳細は14頁)



⑨ 総合体育館

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育館は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑩ 体操練習室

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑪ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設で、1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。



⑫ 柔道場

武道館には、公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウエイトトレーニング用機器常備)も設置されています。



⑬ 剣道場

武道館には、公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。



⑭ スポーツパフォーマンス研究棟

本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設(詳細は15頁)



携帯から施設のページにアクセス!! <http://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities/school.html>



屋内実験プール

単に水泳競技用に使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路の公認プール(8コース)、25m短水路の公認プール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m～2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。また、2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。なお、水温は常時27℃に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



トレーニング場

全身持久力を高めるための有酸素トレーニングマシンをはじめ、身体各部位を効果的に鍛えるためのトレーニングマシンやフリーウエイト等も数多く備え、利用しやすい配置となっています。基礎的な健康づくりから競技力の向上を目指すスポーツ種目まで、幅広い筋力トレーニングが総合的に実施できます。

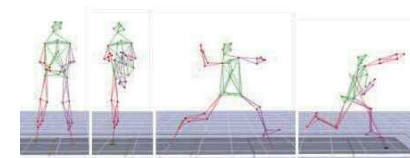


スポーツパフォーマンス研究棟 (通称: SP Lab)

平成27年3月に設置されたスポーツパフォーマンス研究棟 (SP Lab) は国内初となるスポーツ分野のコーチングに特化したパフォーマンス研究の科学的検証を行う最先端研究設備を備えた屋内研究施設です。陸上、テニスなどの個人種目に限らず、野球やサッカーなどのチーム種目における身体活動量測定やゲーム分析をはじめ、多様なスポーツパフォーマンス測定に対応可能です。測定室となる測定アリーナは、面積約3,500㎡、有効高さ15mで、床面は屋外球技用の人工芝と、陸上用のウレタン走路とで構成されています。SP Labには、世界最長50mのフォースプレート(注1)、投打マルチ解析システム(注2)、モーションキャプチャシステム(注3)、オブジェクトトラッキングシステム(注4)等の最新の測定機器が設置されています。



(注1) フォースプレート: 歩行や走行など動作をする際にかかる力量を測定できる機器



(注3) モーションキャプチャシステム: 反射マーカの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(注2) 投打マルチ解析システム: フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、ピッチャーとバッターの同時測定が可能(写真はマウンド)



(注4) オブジェクトトラッキングシステム: 選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体への向き、心拍数などの情報を無線方式でかつリアルタイムに測定可能な機器



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。

スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や実践を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。



たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



多彩に広がるスポーツ環境。

Facilities

施設

国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

グローバルに活躍し得る人材養成を目的に、2つのCALLシステムや多読用図書を活用し、外国語教育(英語、ドイツ語、中国語、韓国語、留学生対象の日本語)や異文化理解に関する教育研究を行っています。

また、学生や教職員の外国語の学習・研究のための利用や大学間交流協定校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣等国際交流事業を推進するとともに、地域社会への公開講座なども開講しています。



■LL1教室(グローバル支援語学学習システム・46ブース)

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



光学式3次元モーションキャプチャ

生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



附属図書館

Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室もありタブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用されます。

■附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp>





日々成長

私は競技力の高さ、充実した環境面の素晴らしいさに感銘を受けて鹿屋体育大学に進学しました。競技力の高さは他競技においても同じで、刺激しい自分自身の成長にも大きくつながっています。

そこで、今年の目標としては全国大会優勝、個人としてもユニバーシアード代表定着を目指して日々努力して頑張っているところです。それが成し遂げられる環境、仲間がそろっている場所だと思うので、これからの結果、成長が楽しみです。

松田 天馬

Matsuda Tenma
スポーツ総合課程3年
平成26年度AO(SS)入試
東福岡高校出身
サッカー部所属

在学生からのメッセージ

Messages from Students

夢の実現

私は「前阪先生、竹中先生、下川先生の下で剣道を学び、日本一、世界一を目指したい」と思い、鹿屋体育大学に入学しました。鹿屋体育大学は自然に囲まれ、施設が整っているため、全ての競技に全力で打ち込める素晴らしい環境です。また、武道専門の授業や課外活動において、技術のみならず、剣道の文化や心まで学ぶことができ、自分自身を見つめ直すことができます。受験生のみならず、そんな恵まれた環境の鹿屋の地で、夢の実現に向けて日々精進していきます。

松本 智香

Matsumoto Chika
武道課程2年
平成27年度AO(SS)入試
筑紫台高校出身
剣道部所属



生きたスポーツ科学を

私はスポーツ科学に興味があり、深く研究を行いたいと考えていました。そのとき国立の4年制体育大学である鹿屋体育大学を知り、すぐにここを志望しました。

現在は運動中のエネルギー供給に関して研究しており、実際に競技力向上のためのトレーニングについての考案などを行っています。

この大学には最先端の研究施設があり、なおかつ多くのトップアスリートがいます。ここでは、実際のスポーツ現場に還元できる、生きたスポーツ科学を研究することができます。

大和谷 健太

Yamatoya Kenta
スポーツ総合課程4年
平成25年度 一般入試
西大和学園高校出身
陸上競技部所属



これぞ学びの場

第3年次編入学試験を利用し鹿屋体育大学へ入学しました。大学生活をより充実させるために硬式野球部へ入部し、現在はマネージャー兼トレーナーとして活動しています。

現場でのチーム運営や選手のコンディショニング管理などは日々勉強になるばかりです。鹿屋での大学生活すべてが新鮮で毎日があっという間に過ぎていきます。2年間という短い時間をどう過ごすかは自分次第。今、ここでできるだけ多くのことを学び、将来に活かしたいと思います。

佐川 愛宥美

Sagawa Ayumi
スポーツ総合課程4年
平成27年度 第3年次編入学
神奈川県立大磯高校出身
硬式野球部所属



新専攻1期生

私は、今年度設置された「大学院体育学研究科 修士課程 スポーツ国際開発学共同専攻」に在籍しています。全て英語で行われる授業を通して、スポーツ国際開発学を中心に学び、語学力の向上を図ると共に、体育・スポーツに関する知識を深めています。慣れない環境に苦戦していますが、現在は充実した日々を過ごしています。これからの2年間で得られる多くの経験を通して、グローバルに活躍できる人材になれるよう、邁進していきます。

木村 良輔

Kimura Ryosuke
大学院体育学研究科 修士課程
スポーツ国際開発学
共同専攻1年
平成28年度入学
東京都立駒場高校出身



可能性を信じて

『オリンピックは夢。とにかく1秒でも速く泳げるようになりたい』が、私の志望理由でした。なので、入学当初はオリンピックについてはほとんど考えた事ありませんでした。

ただ、1回1回の練習に全力で向かい、1日1日を積み重ねていった結果、夢だったオリンピックが目標に変わり、オリンピックの舞台に立つ事ができていました。

鹿屋体育大学は、自分が持っている力を最大限に引き出してくれる場所だと思います。ぜひ、鹿屋体育大学に入学をして、自分の可能性を広げていってほしいなと思います。

アテネオリンピック 競泳女子800m自由形金メダリスト

柴田 亜衣

Shibata Ai

平成17年3月 体育学部 体育・スポーツ課程卒業
平成21年3月 大学院体育学研究科 修士課程修了
平成23年4月 鹿屋体育大学 広報アドバイザー
平成23年4月 株式会社プラミン所属
(柴田亜衣オフィシャルFacebook更新中)

卒業生からのメッセージ

Messages from Graduates



夢への懸け橋

高校まで続けていた陸上競技を辞め、自転車競技をやりたいと鹿屋体育大学に入学しました。予想はしていたものの、推薦入学者とは天と地ほどの差があり、何度も辞めたくりましたが、自転車競技部の楽しい雰囲気と好きで、練習はきつかったですが、諦めず続けることができました。鹿屋体育大学でトレーニング科学をはじめ、様々な知識を学べたこと、そして高い競技レベルの中で練習できたことにより、自分自身を人間として競技者として大きく成長させることができました。

そして、ずっと夢であり目標であったリオデジャネイロオリンピックの代表に選ばれることができました。正直、自分自身でもここまで成長するとは驚きです。鹿屋体育大学は大きく成長できる所です。皆さんにも、鹿屋体育大学生活が夢をかなえる懸け橋になるよう頑張ってください。

2016リオデジャネイロオリンピック
自転車競技女子オムニアム日本代表
CIEL BLEU KANOYA所属

塚越 さくら

Tsukagoshi Sakura

平成26年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業
平成28年3月 大学院体育学研究科 修士課程修了

※オムニアム：2日間で合計6種のアトラク種目を行い、順位をそのまま点数にして合計点数の少なさを競う総合種目

鹿屋だからこそできる経験と充実した学生生活

日本スポーツ振興センターにて、レスリングの日本代表選手のサポートをしています。選手のオリンピック出場・メダル獲得を目指し、試合のビデオ撮影から得点情報の分析・フィードバックまでの業務を行っています。

在学中は硬式野球部に所属していましたが、部活動だけでなく、授業や研究活動も含め、充実した学生生活を送ることができました。本学だからこそできる経験がたくさんあり、その経験が現在の業務にも活かしています。

ぜひ、充実した大学生活を送り、自分の夢にトライし続けてください。

日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスサポート事業
パフォーマンス分析(レスリング)

田中 裕己

Tanaka Yuki

平成19年3月 体育学部 体育・スポーツ課程卒業
平成21年3月 大学院体育学研究科 修士課程修了



教師を目指すみなさんへ

私が教師を目指した理由は「教員免許を取得できたからなんとなく教師を目指そう」というものでした。しかし、大学卒業後の2年間、中学校講師を経験し、生徒の一生懸命な姿、保護者の思いや先生方の温かさを近くで感じ、教師という仕事の尊さを知りました。そこから本気で教師を目指そうと思い、約1年かけて過去問を何度も解いたり、情報交換会に参加するなどの勉強を行いました。その結果、採用試験に合格し、この4月から現在の高等学校での勤務が始まりました。教科指導や部活動だけではなく学級経営、公務分掌、初任者研修など様々な業務を行いながらも、毎日生徒と関わることができ、達成感や新たな課題を見つけるなど充実した日々を送っています。

教育現場でしか味わうことのできない感動や達成感があります。教師として一緒に頑張りましょう。教師を目指しているみなさん、まずは目の前のことを精一杯頑張ってください。応援しています。



広がる可能性

私は、屋内体育器具・フィットネス器具の製造販売を行っているセノ株式会社で営業として働いています。スポーツに関係する仕事に就きたいと曖昧に考えていた自分が変わったのは、大学3年の時にゼミの先生の勧めで行くことができたアメリカのスポーツビジネス研修でした。海外のスポーツ施設の迫力に圧倒され、国内のスポーツ施設・スポーツをする環境を変えたいと強く思ったのが現在の仕事に就くきっかけになったと思います。

鹿屋は人と人の距離感が近く、先生や職員の方々、仲間が背中を押してくれ、様々なことにチャレンジできる環境があります。

みなさまも人情も温かい鹿屋の地でスポーツと大学生活を満喫し、自らの夢を叶えてください。

セノ株式会社 東京支店 営業第一課

相良 周

Sagara Shu

平成26年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業



福岡県立八幡高校 保健体育教諭

山本 璃瑚

Yamamoto Riko

平成26年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業

留学生からのメッセージ



黄 瑞婷

Huang Ruiting

特別聴講学生 (H27.10～H28.9)
出身国: 中華人民共和国
(上海体育大学から留学)

写真中央が筆者

鹿屋体育大学に来ることができて本当によかった！

こんにちは！人生で初めて日本に行くので、出発前の夜は心がワクワクして眠れなかったコウ ルイティンと申します。去年の10月に交換留学生として上海体育大学から鹿屋体育大学に来ました。

私は元々水泳選手としてやってきましたが、2013年に引退し、大学生になってからも、相変わらず世界の舞台の水泳に関する情報や発展などに着目していたことが日本へ留学した理由です。ですから、日本水泳の進展情報は勿論、日本の水泳の育成システムなどにも関心と興味を持っております。また、以前中国にいたときは、日本のアニメが大好きでしたので、アニメを通じて日本に関するいろいろな情報を得て、日本の文化などに興味を持っておりました。

最初はアニメのおかげで日本語での日常会話などは大丈夫でしたが、書くことはぜんぜん駄目でした。ですから、毎回の授業で、レポートの宿題があるときは、とても悩んでいました。でもその後の日本語の授業を通じて、書くことは少しずつ上達していきました。めでたいことです！

日本へ来てから鹿屋体育大学の学生たちや教職員たちにいろいろなところで助けられました。おかげでとても楽しく日本で生活を送ることができました。みなさんに愛されて、心から感謝しています。鹿屋体育大学で学ぶのはあと3ヶ月くらいですが、上海に帰る前までに日本語能力試験N2レベルに合格するよう頑張ります！

留学生チューターからのメッセージ



写真前列左側が筆者

村中 みいな

Muranaka Miina

体育学部 スポーツ総合課程4年

素敵な友人ができました

最初に上海からの留学生のチューターについて話を聞いた時は、何をしたら良いのか、自分にできるのかなど心配なことが多くありました。しかし、そんな不安は全く無用でした。彼女は日本語を話す能力がかなり高かったため、コミュニケーションをとるのにあまり不自由なかったこと、そして同じスポーツである水泳を行っていたため共通の話題があったことで、会話が弾み、最近の出来事や旅行の話から始まり、将来のことについてまで話そうになりました。

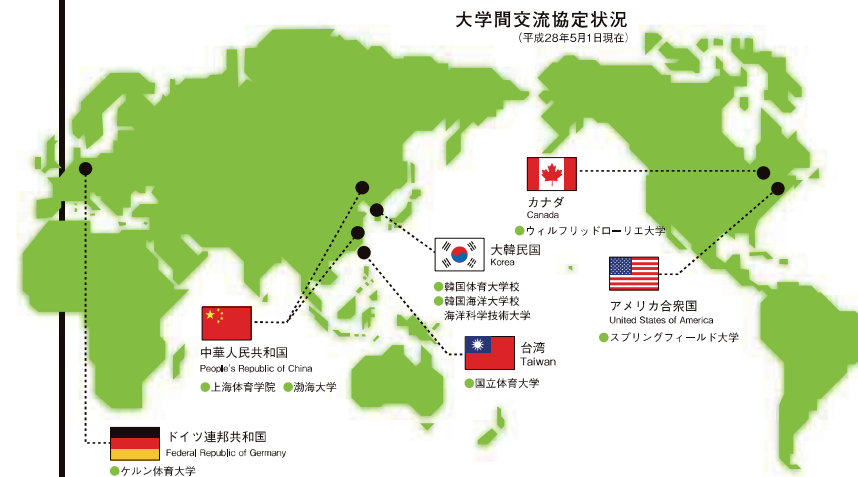
彼女と関わるようになったことで今まで考えたことのなかった日本語の文法について考えたり、日本の文化と中国の文化の違いについて話したり、他の留学生との交流もできました。彼女は今まで考えたこともなかったような視点から疑問を投げかけてくるので、とても新鮮で、しかも楽しく会話をすることができました。チューターとなったことで逆に学ぶことのほうが多く、とても良い経験ができたため、この役割を引き受けて本当に良かったと思います。この機会を通して感じた、様々な人と関わることもおもしろさや大切さを今後も忘れずに、広い視野をもって生活していきたいです。

国際交流

本学は、下の地図に示す8つの大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中華人民共和国）、韓国体育大学校海洋科学技術大学（大韓民国）、国立体育大学（台湾）並びにウィルフリッドローリエ大学（カナダ）の4つの大学と学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は1大学につき2名までとなっています。

留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

なお、留学先での奨学金貸与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金（短期留学）」制度に申し込むことができます。



国際交流

International Exchange Program

外国人留学生在籍状況 (平成28年5月1日現在) 単位:人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
ギリシャ	1				1
中華人民共和国	2	2	1		5
台湾		1	2		3
大韓民国			2		2
計	3	3	5	0	11

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。



外国人留学生見学旅行の一行（京都大塚原農村に）

鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

本事業は、文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から事業を開始しております。

本事業では、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的としています。その目的の達成に向け、国内外の大学や関係機関と連携し、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者を対象とした短期的国際セミナーを年1～2回開催しています。



打ち込めること、ひとつ。

課外活動

Extracurricular Activities



本学には、現在、22の体育系課外活動団体と2つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできない素晴らしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。

陸上競技部	(90)	ラグビー部	(11)	カヌー部	(19)
硬式野球部	(43)	体操競技部	(29)	なぎなた部	(8)
テニス部	(24)	水泳部	(46)	セバタクロ部	(11)
男子バレーボール部	(9)	柔道部	(61)	ウインドサーフィン部	(11)
女子バレーボール部	(25)	剣道部	(138)	アスレティックトレーナー部(専任)	(4)
男子バスケットボール部	(30)	ヨット部	(10)	アスレティックトレーナー部(兼部)	(24)
女子バスケットボール部	(27)	滑艇部	(7)	ゴルフ部	(3)
サッカー部	(99)	自転車競技部	(27)		

研究会	伝統文化・スポーツ研究会 (3)
	グローバル研究会 (11)

注) () は平成28年5月1日現在の部員(会員)の数



課外活動団体紹介



NIFS ブログ

課外活動成績

陸上競技

- ①2010(平成22)年
日本学生陸上競技対校選手権大会
女子多種目優勝校(800m、1500m、棒高跳、槍投)
- ②2011(平成23)年
日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投 2位
- ③2013(平成25)年
全日本大学女子選抜駅伝競走 総合2位
- ④2015(平成27)年
日本学生陸上競技対校選手権大会 女子棒高跳 3位
- ⑤2015(平成27)年
日本学生陸上競技対校選手権大会
女子10000m 1位(2連覇)



硬式野球

- ①1990(平成2)年
第44回九州地区大学野球選手権大会優勝
- ②2015(平成27)年
鹿児島県社会人大学野球大会 優勝
- ③2015(平成27)年
鹿児島県秋季大学野球リーグ戦 準優勝
- ④2015(平成27)年
第94回九州地区大学野球選手権大会出場



男子バレーボール

- ①2010(平成22)年
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2010 1位
- ②2012(平成24)年
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2012 3位
- ③2015(平成27)年
ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2015 3位

テニス

- ①2013(平成25)年
全日本大学対抗テニス王座決定試合 女子団体 ベスト8
- ②2014(平成26)年
全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体 ベスト8
- ③2015(平成27)年
全日本学生テニス選手権大会 男子ダブルス ベスト16
- ④2015(平成27)年
全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体 ベスト8
- ⑤2015(平成27)年
国民体育大会 男子団体 6位



写真提供: 月刊バレーボール

女子バレーボール

- ①2010(平成22)年
秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会 1位
- ②2011(平成23)年
モントルーバレーマスターズ全日本女子チーム選出
- ③2012(平成24)年
皇后杯全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- ④2013(平成25)年
秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学選手権大会 1位



男子バスケットボール

- ①2009(平成21)年度
全日本学生選手権 第7位(全日本総合選手権出場)
- ②2011(平成23)年度
九州学生男子1部リーグ戦 優勝
- ③2015(平成27)年度
九州総合選手権 準優勝
- ④2016(平成28)年
第91回天皇杯全日本総合バスケットボール選手権 出場



女子バスケットボール

- ①2005(平成17)年度
全日本学生選手権 準優勝
- ②2011(平成23)年度
九州学生女子1部リーグ戦 優勝(16年連続)
- ③2012(平成24)年度
九州総合選手権 優勝(全日本総合選手権出場)
- ④2015(平成27)年度
全日本学生選手権 9位
- ⑤2016(平成28)年
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権 出場

- ## サッカー
- ①2011(平成23)年度
国民体育大会 優勝
 - ②2012(平成24)年度
全日本大学サッカー選手権大会 3位
 - ③2013(平成25)年度
全日本大学サッカートーナメント大会 3位
 - ④2013(平成25)年度
全日本大学サッカー選手権大会 3位
 - ⑤2011(平成23)年度～2015(平成27)年度
プロ選手12名輩出



ラグビー

- ①2002(平成14)年度
九州学生ラグビー1部リーグ 優勝



- ## 体操競技
- ①2009(平成21)年
全日本種目別選手権大会 跳馬優勝
 - ②2010(平成22)年
ワールドカップ・カタール国際大会 つり輪2位
 - ③2012(平成24)年
アジア・シニア選手権大会 団体総合2位
 - ④2014(平成26)年
全日本体操競技団体選手権大会 団体総合4位
 - ⑤2016(平成28)年
ワールドカップ・カタール国際大会 鉄棒優勝



水泳

- ①2004(平成16)年
第28回夏季オリンピックアテネ大会
女子800m自由形 優勝
- ②2008(平成20)年
第28回夏季オリンピックアテネ大会
女子800m自由形 出場 女子400m自由形 出場
- ③日本学生選手権水泳競技大会 大学対抗女子優勝
(2005,2006,2007,2008,2012)
- ④2015(平成27)年
第28回ユニバーシアード競技大会 韓国・光州大会
女子200m平泳ぎ 優勝
- ⑤国際大会代表選手 17名輩出

- ## 柔道
- ①2012(平成24)・2014(平成26)・2015(平成27)年
全日本学生柔道優勝大会 女子三人制の部 優勝
 - ②2013(平成25)・2015(平成27)年
全日本学生柔道体重別団体優勝大会 男子5位
 - ③2013(平成25)・2015(平成27)年
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 優勝
(平成25年-48kg・平成27年-66kg)
 - ④2015(平成27)年
ユニバーシアード光州大会 男子・女子団体優勝
(男子-66kg・女子-78kg代表)
 - ⑤2015(平成27)年
柔道グランドスラムTOKYO2015 男子-66kg5位



剣道

- ①全日本学生剣道優勝大会(団体)
優勝4回 2位2回 3位4回
- ②全日本女子学生剣道優勝大会(団体)
優勝9回 2位3回 3位2回
- ③全日本学生剣道選手権大会(個人)
優勝3回 2位2回 3位3回
- ④全日本女子学生剣道選手権大会(個人)
優勝6回 2位6回 3位6回
- ⑤全日本学生剣道オープン大会(個人)
男子優勝1回 女子優勝4回

- ## ヨット
- ①2008(平成20)年
全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級1位
 - ②2010(平成22)年
レーザー級世界選手権大会出場
 - ③2011(平成23)年
全日本学生ヨット個人選手権大会 スナイプ級1位
 - ④2013(平成25)年
全日本学生ヨット選手権大会 総合6位入賞
 - ⑤2015(平成27)年
全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級1位





漕艇

- ①2008 (平成20) 年
第86回全日本選手権大会 女子シングルスカル 第6位
- ②2008 (平成20) 年
第30回全日本軽量級選手権大会
女子舵手付クォドルブル 第7位
- ③2010 (平成22) 年
第37回全日本大学選手権大会 女子ペア第6位
- ④2013 (平成25) 年
第40回全日本大学選手権大会 女子シングルスカル第6位
- ⑤2015 (平成27) 年
第42回全日本大学選手権大会 女子シングルスカル第8位

自転車競技

- ①2006 (平成18) 年 ドーハアジア競技大会
女子ロードレース金メダル
- ②2012 (平成24) 年 ロンドン五輪 関係者2名出場、
2016 (平成28) 年 リオデジャネイロ五輪
関係者2名出場決定
- ③2014 (平成26) 年 仁川アジア競技大会
男子オムニアム金メダル
- ④2015 (平成27) 年 世界トラック選手権 (パリ)
女子ポイントレース 銀メダル
- ⑤2015 (平成27) 年 全日本インカレ男女総合優勝
(男子: 3年連続3回目、女子2年ぶり12回目)



カヌー

- ①2015 (平成27) 年度
第51回日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カヤックシングル1000m第2位
- ②2015 (平成27) 年度
第51回日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアン1000mシングル、ペア、フォア優勝 (三冠)
- ③2015 (平成27) 年度
第51回日本学生カヌースプリント選手権大会
男子総合優勝
- ④2015 (平成27) 年度
第51回日本学生カヌースプリント選手権大会
女子カヤックシングル200m第1位
- ⑤2015 (平成27) 年度
第51回日本学生カヌースプリント選手権大会
女子総合第3位



なぎなた

- ①2007 (平成19) 年度
第46回全日本学生なぎなた選手権大会
演技競技の部 準優勝
- ②2011 (平成23) 年度
第50回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 準優勝
- ③2012 (平成24) 年度
第51回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 準優勝
- ④2013 (平成25) 年度
第52回全日本学生なぎなた選手権大会
個人試合の部 優勝
- ⑤2015 (平成27) 年度
第54回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝
個人試合の部 優勝



セバタクロ

- ①2004 (平成16) 年度
全日本学生セバタクロ選手権 準優勝 (女子)
- ②2009 (平成21) 年度
全日本学生セバタクロ選手権 3位 (男子)
- ③2015 (平成27) 年度
全日本ビギナースカップ 準優勝 (男子)

ウィンドサーフィン

- ①2013 (平成25) 年
全日本学生ボードセーリング大会女子4位
- ②2013 (平成25) 年
第68回国民体育大会女子国体ウィンドサーフィン級6位
- ③2014 (平成26) 年
全日本学生ボードセーリング大会出場
- ④2014 (平成26) 年
全日本ボードセーリング選手権九州支部予選1位
- ⑤2015 (平成27) 年
全日本学生ボードセーリング大会出場



アスレチック
トレーナー

アスレティックトレーナー部は、様々な課外活動団体に所属している学生で構成されています。週1回の勉強会に加えて各課外活動団体での実践を普段から心がけるとともに、優秀な選手やトレーニング設備等が数多くあるなど本学の多くの利点を生かしていくことを目指しています。

ゴルフ

- ①2011 (平成23) 年度
ドラコン日本選手権 出場
- ②2012 (平成24) 年度
鹿児島県大学ゴルフ選手権 4位





霧島ヶ丘公園 (かのやばら園)

人と自然が輝くまち 地域の恵みが 響きあうまち

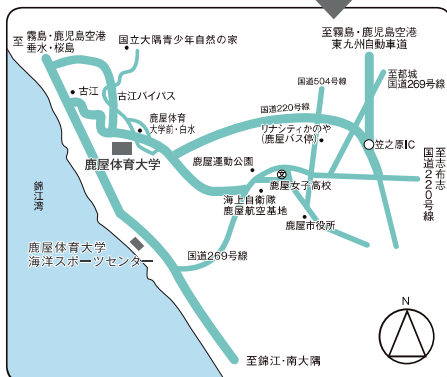
鹿児島県の県庁所在地である鹿児島市からフェリーで東へ約45分乗船し、到着した垂水(たるみず)市からバスでさらに南東へ約30分揺られると、雄大な高隈(たかくま)山系の裾野に広がる鹿屋体育大学が出現します。

大隅半島の中核都市である鹿屋市は、自然が豊富で、その恵みである良質の農産物や海産物、畜産物を安く食することができます。上質の栄養補給が必要なアスリートにとって、まさに最適な環境といえます。

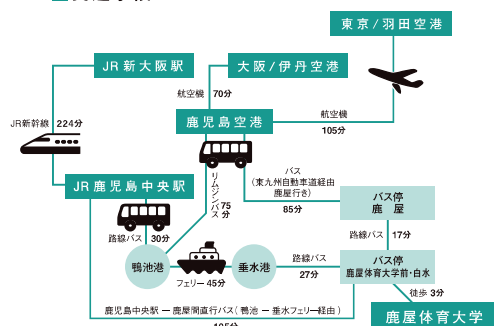
また、気候が温暖な本土最南端に位置するため、1年中スポーツに打ち込むことができます。そんな鹿屋市で、あなたも未来を拓いてみませんか？

所在地

Location



交通手段



充実の環境が、 キャンパスライフを サポートする。

福利厚生

Community Service Facilities

学生・教職員の福利厚生増進のため、大学会館が設置されており、食堂、売店、理・美容室などがあります。学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。

また、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として、「保健管理センター」があり、健康等に関する助言・指導や、傷害に対する救急処置等を行っています。課外活動、本学主催の講習会・研修会・スポーツ交流会等に利用できるように、宿泊室や研修室等を備えた「合宿研修所」が設置されており、最大で113名が宿泊できます。



保健管理センター



●体組成計



●酸素カプセル
●マッサージ器



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ギャラリー



学生食堂(朝食バイキング)



合宿研修所



ロッカー室

日本学生支援機構

(1) 第一種奨学金(無利子)

人物・学業共に特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

(2) 第二種奨学金(有利子)

人物・学業共に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

(3) 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

【貸与金額】(平成28年4月1日)

大学	・第一種奨学金(無利子) 自宅通学者: 45,000円または30,000円、 自宅外通学者: 51,000円または30,000円 ・第二種奨学金(有利子) 3・5・8・10・12万円から選択
大学院 (修士課程)	・第一種奨学金(無利子) 88,000円または50,000円 ・第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
大学院 (博士後期課程)	・第一種奨学金(無利子) 122,000円または80,000円 ・第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
入学時増額貸与	(有利子) 10・20・30・40・50万円から選択

奨学金

Scholarships

学費

School Expenses

入学料等 (平成28年度実績)

区 分	金 額	納 入 時 期
入学料	282,000円	入学手続時
授業料	前期 267,900円	4月30日まで
	後期 267,900円	10月31日まで
その他経費 (各種保険料等)	75,200円	入学手続時

学費の免除

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者(学費負担者)が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難であると認められる者は、願い出により入学料の全額又は半額が免除されることがあります。(大学院生は経済的理由で申請可)

(2) 授業料免除

次に該当する者は、願い出により授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

- 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者

(3) 入学料特別免除

入学前の競技成績(大学院は入試成績)の特に優れた者に対し実施します。AO(SS)入学者は全員、推薦入試入学者は競技成績により選考。(申請不要)

(4) 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。(申請不要)

鹿屋体育大学 日本学生支援機構 奨学生数一覧

入学年度	学 部					大学院				
	学生数 a	一 種	二 種	併用 (一・種・二種)	計 b	貸与 比率 b/a	学生数 c	一 種	二 種	併用 (一・種・二種)
24	195	21	93	10	124	64%	—	—	—	—
25	201	31	72	7	110	55%	10	4	0	1
26	175	35	56	14	105	60%	27	11	0	2
27	181	39	58	15	112	62%	27	14	0	0

(注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。なお、学部学生は、入学時に学生教育研究災害傷害保険及びスポーツ安全保険に全員加入しています。

学生教育研究 災害傷害保険	学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学時に全員加入いただいています。	保険料: 3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
スポーツ 安全保険	課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学時に全員加入いただいています。	保険料: 7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
傷害 総合保険	教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	保険料 自宅 40,000円 寮・アパート 48,000円(4年間) 自宅 21,000円 寮・アパート 25,000円(2年間)
学研災付帯 学生生活総合 保険		自宅A 56,630円 一人暮らしD 62,620円 自宅B 41,240円 一人暮らしE 47,230円 自宅C 36,810円 一人暮らしF 42,800円 (4年間)

※平成28年4月現在

傷害保険

Casualty Insurance



学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物が5棟設けられています。部屋はすべて個室(約6畳)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。

棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面・洗濯室、浴室、トイレ等があります。寄宿料等は、1ヵ月当たり13,800円(寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円)です。規則正しい生活を送るように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代: 年額70,290円(平成28年度実績)、年度当初に前納(理由がある場合は、事前の欠食届の提出により返金)

名 称	1居室面積・構造	居室数(個室)	備 考
A 棟	約10㎡・鉄筋5階	70	男 子
B 棟	◇	70	男 子
C 棟	◇	70	女 子
D 棟	◇	70	男 子
E 棟	◇	70	男 子



学生宿舎

Student Dormitories

○管理運営

管理運営業務は、学生課が担当し、宿舎敷地内の共用棟に管理人を置いています。なお、入居者が自主的に規律ある共同生活を行うため、自治組織として「学生宿舎会」が設けられています。

○入居者の選考方法

入居者の選考は、所定の規則に基づき、宿舎生活に支障がないこと、自宅からの通学距離が30km以上であること、経済に困窮度が高いこと、入居後の生活態度等を勘案して行います。抽選や、先着順などではありません。なお、新入生は、優先的に入居できるように在学生よりも枠を多く設けるなど配慮しています。

○自動車等

駐車場及び駐輪場を設置しています。駐車場の使用は無料ですが、許可が必要です。

大学周辺には、多くのアパートが点在しており、本学学生も入居しています。家賃は月額25,000円～50,000円(6畳～8畳)です。詳しくは、学生課にお問い合わせください。

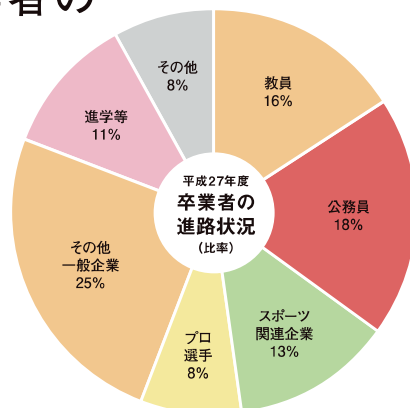


平成27年度卒業生の進路状況

平成28年3月に卒業した学生の職業別進路状況は、右の円グラフに示すとおりです。



卒業・修了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います



(注) 小数点以下四捨五入のため、合計しても100%になりません。

主な就職先

最近5年間における職種別の主な就職先は、以下のとおりです。

・教員 (臨時的任用教員・非常勤講師を含む)

北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

・公務員

行政職：伊勢崎市、岡谷市、名古屋市、鳥取市、大阪市、刈谷市、鹿屋市、木津川市
警察官：警視庁、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県
消防士：東京消防庁、大阪市、一宮市、佐世保市、福岡市、尼崎市、和泉市、垂水市

・スポーツ関連企業

(株)アシックス、(株)ルネサンス、セノー(株)、(株)ヒマラヤ、セントラルスポーツ(株)、(株)東洋、(株)カーブスジャパン、(株)アコーディアゴルフ

・実業団 (選手)

サッカー：サガン鳥栖、ロアッソ熊本、ガイナレ鳥取、栃木サッカークラブ、
ホンダロックSC、ギラヴァンツ北九州、鹿児島ユナイテッドFC、アビスパ福岡
バレーボール：久光製薬スプリングス、JTマーヴェラス、日立リヴァーレ、
PFUブルーキャッツ、大野石油広島オイラーズ、フォレストリヴス熊本
バスケットボール：新潟アルビレックス、レバンガ北海道
自転車：NIPPO VINIFANTINI De Rosa、チャンピオンシステム、
愛三工業レーシングチーム

・一般企業

(株)DNP西日本、ニプロ(株)、曙ブレーキ工業(株)、(株)JTB、JR東日本、JR九州、伊藤忠エネクス、
(株)大創産業、(株)鹿児島テレビ、(株)福岡放送、(株)南日本放送、(株)マイナビ、(株)アイケイケイ、
(株)鹿児島銀行、日本生命保険相互会社、第一生命保険(株)、SMBC日興証券(株)

・進学

鹿屋体育大学大学院、筑波大学大学院、東京大学大学院、埼玉大学大学院、名古屋大学大学院、
広島大学大学院、熊本大学大学院、愛知教育大学大学院、福岡教育大学大学院

キャリア形成支援室

キャリア形成支援室は、就職やキャリア形成を希望する学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくでも利用できます。

- ・インターネットによる就職情報等を検索できるパソコン (3台) (利用時間/8:30~17:15)
- ・求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ・貸出用就職関係図書、DVD



就職相談員

キャリア形成支援室には、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。
相談曜日は、原則として火・水となっています。



就職対策

・教員対策・公務員対策

休日を利用した模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。

・就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスをいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。

・就職ガイダンスバスツアー

年1~2回ヤフードーム (福岡市) を会場として開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「弾丸バスツアー」を行います。



平成28年度入学者選抜実施結果

スポーツ総合課程

単位：人

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	10(5)	10(5)	10(5)	10(5)
推薦入試	50	71(25)	71(25)	50(21)	50(21)
一般入試	60	263(46)	248(45)	71(13)	65(11)
特別入試	帰国子女 社会人	若干人 若干人	0(0) 1(0)	0(0) 1(0)	0(0) 1(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	120	345(76)	330(75)	132(39)	126(37)
第3年次編入	20(注)	54(9)	54(9)	20(4)	20(4)

()内は、女子で内数。 注)第3年次編入の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

武道課程

単位：人

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)
推薦入試	20	21(9)	21(9)	21(9)	21(9)
一般入試	25	41(4)	35(4)	29(4)	27(4)
特別入試	帰国子女 社会人	若干人 若干人	0(0) 0(0)	0(0) 0(0)	0(0) 0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50	66(15)	60(15)	54(15)	52(15)
第3年次編入	20(注)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

Results of the 2017 Entrance Examination

入試情報

平成28年度
出身地別入学者数

(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)

合計178(52)
(第3年次編入者は除く)

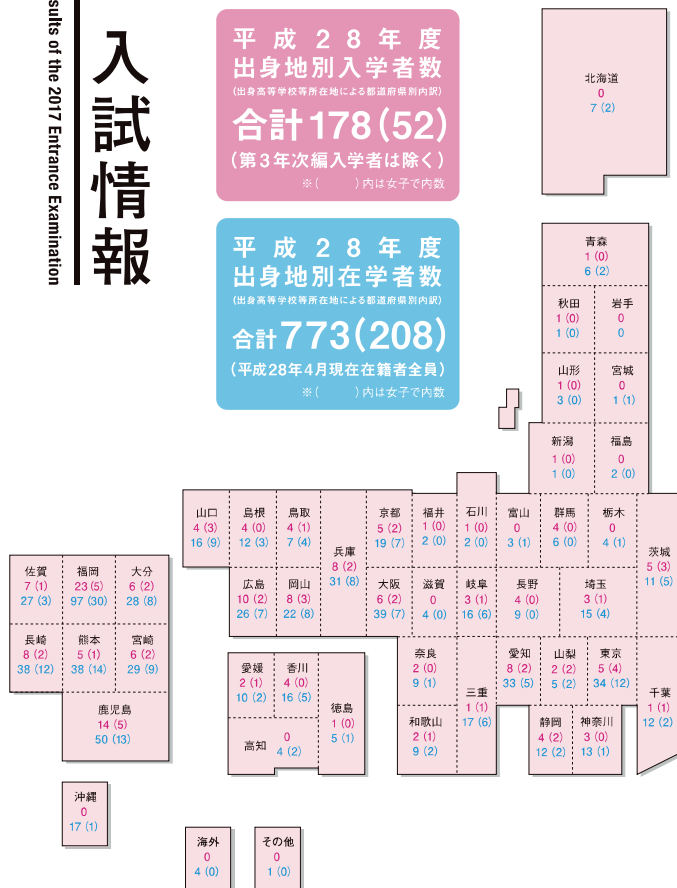
※()内は女子で内数

平成28年度
出身地別在学者数

(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)

合計773(208)
(平成28年4月現在在籍者全員)

※()内は女子で内数



平成29年度入学者選抜

選 抜 方 法

次の選抜方法により実施します。

- AO(SS)入試*
- 推薦入試
- 一般入試(面接及び実技検査による選抜)
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

*SSとは、スーパー・シューデント(Super Student)の略で、競技能力の特に出っ、者を指します。

選 抜 方 法 の 概 要

平成29年度入学者選抜要項は現在配付中です。

選 抜 要 項 の 請 求

封筒の裏に「平成29年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付)を同封の上請求してください。

請 求 先

〒891-2393
鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL (0994) 46-4869

資料請求



テレメール



モバっちょ

大学説明会及び体験授業
(鹿屋体育大学白水キャンパスで開催)

第1回 平成28年7月16日(土) 10:20~16:00

本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④課外活動見学 ⑤大学案内・入試資料・記念グッズ配付



体験授業

本学の教育・研究内容を少しでも知っていただくために、高校生受験希望者(保護者を含む)を対象に次のとおり体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 平成28年7月17日(日)

区分	科目名	担 当	授業内容	時 間	募集人員
A	スポーツマンのための基礎英語	吉重 美紀 国重 徹	スポーツに関する英語のクイズやゲーム、多読を通して楽しく英語を使ってみよう	9:00 ~ 10:10 (70分)	30名
B	①体力トレーニング	瓜田 吉久	ウエイトトレーニングのやり方を知ろう	10:30 ~ 11:40 (70分)	25名
	②柔 道	濱田 初幸 小山田 和行	柔道を体験してみよう →全身は汗ばむのちになるー		30名



第2回 平成28年10月15日(土) 10:20~16:00

東京サテライトキャンパスでの大学説明会

(所在地:東京都文京区大塚3-29-1)

- 第1回 平成28年5月22日(日)
- 第2回 平成28年6月19日(日)
- 第3回 平成28年8月13日(土)
- 第4回 平成28年8月14日(日)
- 第5回 平成28年11月6日(日)
- 第6回 平成29年1月28日(土)
- 第7回 平成29年3月18日(土)

※時間はいずれの日も13時(受付)~16時30分
※日程は変更になることがあります。

詳細については、本学ホームページをご覧ください。



インターネット

<http://www.nifs-k.ac.jp/>

鹿屋体育大学のホームページを開設しています。学部・大学院の詳細な内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

本学ホームページ



トップページ



研究者の紹介

心でかく汗、 体で見る夢。

ヘルシーな心は、ヘルシーな体に宿る。
そんな実感の日々が待っています。
夢が精神をストレッチしてくれる。
夢が身体にマインドを調和させる。
そんな「生きてる時間」が流れていきます。



本学研究棟屋上から桜島を望む（本学から桜島火口付近までは直線距離で約25kmです）

全国でただ一つの国立の4年制体育大学



国立大学法人

鹿屋体育大学

問合せ先：教務課入試係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL：0994-46-4869

URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>



トップページ



公式マスコットキャラクター
パララン